

沖縄愛楽園の医療の地域開放を推進することについての意見書

内閣総理大臣 殿

厚生労働大臣 殿

平成 21 年 3 月、当市は、「国立療養所沖縄愛楽園将来構想」を策定し、「医療施設をはじめとした愛楽園施設・機能の地域開放を推進することにより、地域住民等の医療・福祉環境などの向上を図るとともにそれらを通じた地域住民等との交流の充実、相互理解の向上を図る」という基本目標を掲げたところである。

現在、沖縄愛楽園自治会は、厚生労働省に対し、沖縄愛楽園で地域住民が入院・治療を受けることを可能とするため、病床の一部（当面 4 床程度）について、保険入院医療機関としての指定を受けることを求めている。

この保険入院医療機関の指定は、名護市の求める将来構想実現のために極めて重要な条件である。よって名護市議会は、この愛楽園自治会の要望を全面的に支持し、その早期実現を厚生労働省に求めるものである。

平成 21 年 12 月 17 日

沖縄県名護市議会